

第19回（2024年）マニフェスト大賞

# 募集要項



Manifesto Awards

# 目次

<b>1. 開催概要</b> .....	<b>3</b>
マニフェスト大賞とは.....	3
団体概要.....	3
<b>2. スケジュール</b> .....	<b>4</b>
<b>3. 部門概要および審査基準</b> .....	<b>5</b>
① ローカル・マニフェスト部門.....	5
② シティズンシップ部門.....	5
③ 議会改革部門.....	6
④ 政策・まちづくり部門.....	6
グランプリ .....	7
特別賞（特別審査委員賞） .....	7
特別賞（インターネット投票特別賞） .....	8
<b>4. 審査委員会</b> .....	<b>9</b>
① 審査委員.....	9
② 審査スケジュール..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
<b>5. 応募の流れと注意事項・応募に関するよくある質問</b> .....	<b>10</b>
応募に関するよくある質問.....	10
ロゴマーク使用について .....	12
大会記念冊子の購入について .....	13
問い合わせ先 .....	14

# 1. 開催概要

## マニフェスト大賞とは

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰するものです。これにより、地域で努力を重ねる方々に栄誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取り組みが広く知られ互いに競いあうようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を広げることが目的としています。政策本位の政治、生活者起点の政策を推進するために、ご注目頂くとともに、奮ってのご応募をお待ちしています。

## 団体概要

主 催：マニフェスト大賞実行委員会

実行委員長：鈴木綾子（東京都江東区議会議員）

副実行委員長：山本美和（茨城県議会議員）  
岡崎進（神奈川県茅ヶ崎市議会議員）  
高橋保（愛媛県西条市議会議員）  
福井たかお（福岡県福津市議会議員）

事務局長：三浦ひらく（岡山県津山市議会議員）

ほか全国の自治体議員・市民などで実行委員会を構成

共 催：早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社

後 援：株式会社共同通信社

協 力：公益財団法人明るい選挙推進協会、公益社団法人日本青年会議所

協 賛：株式会社NTTデータ/森ビル株式会社

東京インタープレイ株式会社/株式会社エイブルコンピュータ

イチニ株式会社/NTTアドバンステクノロジー株式会社/ベリーベスト法律事務所

株式会社会議録研究所、株式会社図書館総合研究所

## 2. スケジュール

6月1日	応募開始 期間中「なんでも相談会」を複数回開催	
7月31日	応募締切	
8月	審査	
9月		
10月上旬	エリア選抜（優秀賞の候補）を発表 エリア選抜の中から優秀賞（躍進賞含む）を発表 インターネット投票開始	マニフェスト大賞 HP で発表 毎日新聞、マニフェスト大賞 HP で発表
10月中旬	審査（最優秀賞審査）	
11月14日 終日※	「トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会」	早稲田大学井深大記念ホールにて開催
11月15日 午後※	授賞式 ※ ・各部門「優秀賞（躍進賞含む）」表彰 ・各部門「最優秀賞」発表（当日）・表彰 ・各部門最優秀賞受賞者プレゼンテーション ・グランプリ審査・決定・表彰 ・特別賞（特別審査委員賞・ インターネット投票特別賞）発表・表彰	虎ノ門ヒルズフォーラムにて開催

※（参考）昨年の開催時間

- 「トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会」：10時30分～16時30分
- 授賞式：13時～16時

### 11月14日（木） 受賞事例研修会（早稲田大学）について

受賞者が一堂に会し、受賞の取り組み事例をプレゼンテーションし学びを深め合う研修会で  
す。マニフェスト大賞に応募した方以外の一般参加も受け付けます（要参加費）。

- 受賞者となった場合は、原則皆様にご参加いただくようお願いしております（原則会場参加をお願いしますが、やむを得ない事情がある場合はオンラインでの参加も可能です）。
- 受賞者は3分間でプレゼンテーションを行なっていただきます。最も良かったプレゼンテーションを選ぶ「プレゼンテーション賞」を研修会参加者による投票により決定します。
- 受賞者同士の交流を深める意見交換会を終了後開催します。

### 11月15日（金） 授賞式（虎ノ門ヒルズフォーラム）について

各部門受賞者の表彰のほか、部門ごとの最優秀賞、特別賞、グランプリの発表などを行います。

- 受賞者となった場合は、原則皆様にご参加いただくようお願いしております（原則会場参加をお願いしますが、やむを得ない事情がある場合はオンラインでの参加も可能です）。
- 各部門の最優秀賞は授賞式で発表されます（該当者への事前通知は行いません）。
- 各部門最優秀賞に選ばれた場合は、グランプリを決める最終審査のためのプレゼンテーション（3分間）を行なっていただきます。
- 最終審査をその場で行い、グランプリを決定・表彰します。
- 特別賞（特別審査委員賞、インターネット投票特別賞）の表彰を行います。

### 3. 部門概要および審査基準

下記の4部門の中から選んでご応募ください。

応募内容によっては、応募時に選択した部門とは異なる部門で表彰される場合もあります。

#### ① ローカル・マニフェスト部門

分権自立、生活者起点の視点で作成された優れたローカル・マニフェストを表彰する。マニフェストそのものの出来栄に加え、ローカル・マニフェストに基づいた活動、ローカル・マニフェストの検証・改善を繰り返すマニフェストサイクルの促進などを評価する。

対 象	首長、議員・会派
授 賞	最優秀賞：2（首長1、議員・会派1）優秀賞：複数

（審査基準）

共 通	① 地方の分権自立の流れや社会状況に対応した生活者起点の取り組みになっている
共 通	② 課題設定が明確で、取り組む優先順位が明らかになっている
共 通	③ 審査委員独自の視点による加点

首 長	④ 社会状況の変化に対応した事後検証可能なローカル・マニフェストを作成し、達成状況についての検証を行っている
首 長	⑤ ローカル・マニフェストにマネジメントの視点（財政、組織・人材、リスク）があり、実行している

議員・会派	④ 住民代表としての議員（および会派）が、実行可能で具体的な目標達成に向けた戦略（ローカル・マニフェスト）を策定している
議員・会派	⑤ 広聴・広報の観点で市民とのコミュニケーション・情報共有の仕方を工夫している

#### ② シティズンシップ部門

投票啓発を含むシティズンシップ推進に関する取り組み、こども・若者の意見創出、意見反映、市民マニフェストなどの取り組みを表彰する。

対 象	すべて
授 賞	最優秀賞：1 優秀賞：複数

（審査基準）

共 通	① 地方の分権自立の流れや社会状況に対応した生活者起点の取り組みになっている
共 通	② 見せ方や情報共有に工夫が見られ、世の中に広く紹介したい取り組みになっている
共 通	③ 新しいアイデアで創造性にあふれたものになっている
共 通	④ 多様な協働、連携がなされている
共 通	⑤ 審査委員独自の視点による加点

### ③ 議会改革部門

議会、議会事務局またはその双方による、住民福祉の向上に寄与するための取り組み、議会の機能充実の取り組み、市民の参画や政策形成サイクルを議会運営上のシステムとして確立している取り組みなどを表彰する。

対 象	議会（議長、委員会、事務局等可）
授 賞	最優秀賞：1 優秀賞：複数 躍進賞：複数

（審査基準）

共 通	① 地方の分権自立の流れや社会状況に対応した生活者起点の取り組みになっている
共 通	② 審査委員独自の視点による加点
共 通	③ 議会改革の成果として課題の解決に至っている
共 通	④ 市民の参画や議論の充実により議会活動の質的充実が図られている
共 通	⑤ チーム議会で政策形成サイクルを議会運営上のシステムとして確立している

※議会改革部門は躍進賞にも同時エントリーが可能です（応募フォームより選択）。躍進賞の授賞にあたっては、上記③～⑤を次の基準で代替し審査します。

躍 進	③ 応募者が設定する期間において、改革を大きく前進させ取り組みが躍進している
躍 進	④ 世の中に広く紹介したい取り組みになっている
躍 進	⑤ 今後、更なる活動に期待が持てる

### ④ 政策・まちづくり部門

議員、首長、市民、メディア、民間などあらゆる主体が対象。課題を的確に捉え持続可能な地域を築くため、解決に向けた成果を生み出している優れた取り組みや、新規性や独創性にとんだ優れた取り組みを表彰する。評価にあたっては、既存の枠組みや国の支援に依存するのではなく、地域が主体的、前向きに取り組む姿勢を重視する。

対 象	すべて
授 賞	最優秀賞：1 優秀賞：複数

（審査基準）

共 通	① 地方の分権自立の流れや社会状況に対応した生活者起点の取り組みになっている
共 通	② 地域の将来を描いたビジョンが掲げられている
共 通	③ 世の中に広く紹介したい取り組みになっている
共 通	④ 取り組みの過程において、市民など様々な立場の人々が参画している
共 通	⑤ 審査委員独自の視点による加点

## グランプリ

すべての部門の最優秀賞受賞者の中から、グランプリを決定し表彰します。

対 象	ローカル・マニフェスト部門（首長、議員・会派）、シティズンシップ部門、議会改革部門、政策・まちづくり部門の各最優秀賞受賞者
授 賞	グランプリ：1

### （審査基準）

その年の世相や社会状況を鋭敏に捉え、問題に対する解決プロセスとして最も優れているものに決定する。賞の決定にあたっては、広く世の中に対する影響力を持ち、また、その内容が独創的で新たな視点や考えを提供すること、社会的議論を促進し、拡がりを見せる潜在力を持っていることなどを考慮する。

※授賞式での最終プレゼンテーションを踏まえ、その場で審査・決定します。

## 特別賞（特別審査委員賞）

特別審査委員が独自の視点で決定します（4部門の審査には影響しません）。

決定は10月下旬（予定）で、該当者に個別連絡します。なお、発表は授賞式当日です。

対 象	エリア選抜（優秀賞の候補となるもの）の中から選出（ただし4部門での受賞者となった場合は特別賞の対象にはなりません）。
授 賞	箭内 道彦 選：1 秋吉 久美子 選：1

### ■ 箭内 道彦 （クリエイティブディレクター）

主な仕事に、タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」、フジフィルム「PHOTO IS」、資生堂「uno」お笑い芸人52人CM、東京メトロ「TOKYO HEART」、サントリー「ほろよい」、サントリー「NO MUSIC, NO WHISKY.」などがある。フリーペーパー「月刊 風とロック」発行人。2007年4月「マニフェストを読んで選挙に行こう。プロジェクト」ロゴデザインを担当。

### ■ 秋吉 久美子 （女優）

1954年生まれ。1972年映画デビュー。女優として活動開始。1976年「挽歌」アジア映画祭主演女優賞、「あにいもうと」ブルーリボン賞主演女優賞を受賞ほか受賞作品多数出演。2007年9月より早稲田大学大学院公共経営研究科に入学。2009年9月、卒業。公共経営修士取得。世界遺産登録5周年記念事業「熊野古道国際交流シンポジウム尾鷲2009」にパネリストとして参加。

## 特別賞（インターネット投票特別賞）

「応援したい取り組み」をインターネットによる一般投票で選び、得票上位の取り組みを「インターネット投票特別賞」に決定します（4部門の審査には影響しません）。インターネット投票は、10月上旬の優秀賞発表後に開始します。

対 象	エリア選抜（優秀賞の候補となるもの）の中から選出（ただし4部門での受賞者となった場合は特別賞の対象にはなりません）。
授 賞	インターネット投票特別賞：得票上位の複数

### （注意事項）

- 本賞へのエントリーは、応募時に応募フォームで希望した場合に限ります（応募時に希望しない場合は、本賞へのエントリーには不参加となります）。
- エントリーを希望し投票の対象（エリア選抜）となった場合は、投票のために下記のエントリー内容の一部がインターネット上で公開されます。個人情報や著作権・肖像権（ご自身だけでなく、応募書類一式に記載されるものも含め）の取り扱いには十分ご注意ください。

- 応募団体・個人名
- 自治体名（都道府県・市区町村名）
- 応募タイトル
- 取り組み要旨
- 応募内容本文
- 参考URL

※添付資料は公開されません。



## 4. 審査委員会

### ① 審査委員

北川	正恭	早稲田大学マニフェスト研究所顧問（審査委員長）
曾根	泰教	慶應義塾大学大学院名誉教授
江藤	俊昭	大正大学社会共生学部教授
廣瀬	克哉	法政大学総長
千葉	茂明	公益財団法人 日本生産性本部上席研究員
藤森	克彦	日本福祉大学福祉経営学部長／みずほリサーチ&テクノロジーズ主席研究員
西尾	真治	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング主任研究員、コンセンサス・デザイン室長
人羅	格	毎日新聞社論説委員
定金	基	NPO 法人カットジェイピー理事
土山	希美枝	法政大学法学部教授

## 5. 応募の流れと注意事項・応募に関するよくある質問

### 応募の検討

- ご応募にあたってご不明な点がありましたら、各地の実行委員や事務局までお気軽にお問い合わせください（※審査内容に関わることにはお答えできません）。  
実行委員の紹介：<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/greeting/member.html>
- オンラインで開催する「なんでも相談会」もぜひご活用ください（任意）。  
新着情報：<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/docs/>

### 募集要項の確認

- ご応募前に募集要項（本紙）をよくご確認ください。

### 応募期間内に応募フォームより応募内容を送信

- ご応募前に募集要項（本紙）をよくご確認ください。
- 6月1日～7月31日までの応募期間内に送信してください。7月31日が終了するとフォームが自動的に閉鎖されますので、ご注意ください。
- 応募フォーム以外（郵送その他の方法）での応募は受け付けていません。
- 送信後の修正が必要な場合は、再度最初から応募フォームから送信してください。応募期間終了後の修正やフォーム以外（メール等）による方法ではできません。

### 自動送信メールの確認

- 応募フォームが正しく送信されると、入力したメールアドレス宛に【「応募完了」  
●●様：第19回 マニフェスト大賞応募完了しました】という件名のメールを送付します（自動送付）。このメールの受信を必ず確認してください。
- メールが届いていない場合は、メールアドレスの誤入力や迷惑メールフォルダへの振り分けなどが考えられます。
- メールは [\[mani@maniken.jp\]](mailto:mani@maniken.jp) から送信されます。

### 応募に関するよくある質問

Q：「なんでも相談会」とは何ですか？参加しないと不利になりますか？

A：なんでも相談会は、応募期間中にオンラインで開催する相談会です。応募を迷っている方や応募フォームの書き方に不安がある方などご相談いただけます。なんでも相談会は、マニフェスト大賞実行委員がご相談に乗りますが、実行委員は審査には関与しないため審査に直結するようなご質問にはお答えできません。また、参加の有無が審査に影響することは全くありません。

Q：同じ取り組みを複数の部門で応募することはできますか？

A：原則一つの部門で応募してください。ただし、一つの部門に絞れない場合は、各部門の審査基準を確認のうえ、アピールの仕方を各部門に合わせて工夫する等して応募してください(全く同じ内容で複数の部門へのエントリーは避けてください)。応募する部門がご不明な場合は、実行委員や事務局までお気軽にご質問ください。

Q：同じ応募者が異なる取り組みを複数エントリーすることはできますか？

A：できます。同じ部門でも異なる部門でも複数の取り組みをエントリーすることができます。

Q：過去に受賞した内容での再応募はできますか？

A：全く同じ内容は避けてください。受賞時から変化したポイントを明記してください。

Q：文字数の上限はどのように考えれば良いですか？

A：応募タイトルは 50 字以内で書いてください。50 字以上はフォームの設定上受付ができません。最小文字数はありません。取り組み要旨、応募内容本文はそれぞれ 200 字、1200 字程度です。前後 1 割程度の増減はフォーム上許容されます。

Q：「躍進賞」とは何ですか？

A：議会改革部門のみに設定されている賞です。躍進賞への同時エントリーが選択できます。躍進賞のみのエントリーはできません。躍進賞は、議会改革部門の中で優秀賞の基準には満たないものの、既に取り組みされている先進事例を参考にしながら、自分たちにふさわしいやり方を取り入れて着実に成果を出している議会を表彰するもので、善政競争の輪をさらに広げたいという思いで設けられています。

なお、躍進の度合いをはかる客観指標として、マニフェスト大賞共催団体である早稲田大学マニフェスト研究所が毎年全国の議会を対象に実施している「議会改革度調査」の順位を審査の参考情報とする場合があります。

Q：「インターネット投票特別賞」とは何ですか？

A：学識・専門家等で構成する審査委員会による審査とは異なるプロセス（インターネットによる投票）で選ぶものです。インターネット投票特別賞にエントリーするか否かは応募フォームより自由にご選択いただけます。インターネット投票特別賞にエントリーするか否かは応募する部門の審査結果には全く影響しません。

## ロゴマーク使用について



Manifesto  
Awards

### ■デザインについて

透明であり強い意志を表現する、マニフェストブルーのカラー。色々なマニフェストが生まれ育つことを表現する、葉のモチーフ。集まった政策が研ぎ澄まされていることを表現する、正方形のアウトライン。善政競争によって日本全体の上昇を表現する、ロゴ下部の盛り上がり。そして中央には Manifesto を象徴する「M」を配置しています。

### ■ロゴマークを利用する

マニフェスト大賞のロゴマークは、マニフェスト大賞応募者以外にもマニフェスト大賞の認知向上、「善政競争」を拡めたいとお考えであれば、どなたでも利用することができます。ぜひ、ご利用ください。

ただし、ロゴマークのデザイン、縦・横の比率および色などの使用規定を順守していただく必要があります。使用規定はガイドラインに記載されています。

ロゴマークデータ・ガイドラインのダウンロード：

マニフェスト大賞 HP：<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/greeting/mark.html>

※使用規定と異なる利用、悪質な盗用などに対しては法的な対応を行う場合や使用料を請求する場合がありますのでご了承ください。

※マニフェスト大賞優秀賞受賞者のみが利用できるロゴマークとは異なります。

### 受賞者限定ロゴマーク

受賞者は受賞者限定ロゴマークを使用できます。ダウンロード方法は、受賞者に個別にお送りするメールに記載しています。



Manifesto  
Awards

## 大会記念冊子の購入について

---

最新年の大会記念冊子（原本／データ）を1部単位から購入することができます。  
過去年（バックナンバー）は、データ販売のみとなります。

【内容】 マニフェスト大賞大会記念冊子

【定価】 1500円（税込）

※郵送手数料 1～5冊：500円、6～10冊：1,000円が別途発生します。

【支払】 お振込先等は請求書にてご案内いたします（※納品時に同封します）。

いずれもご購入はマニフェスト大賞ウェブサイトよりお願い申し上げます。

(<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/greeting/booklet.html>)

問い合わせ先

## マニフェスト大賞 事務局

(早稲田大学マニフェスト研究所 担当：山内・亀井)

電話：03-6709-6739 メール：mani@maniken.jp

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 517-1 ドラード早稲田 402